

令和6年度 江戸川区立江戸川小学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標を踏まえて学級目標を設定する。	自分の大切さを認識することを中心とした指導			他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認め、助け合えることを中心とした指導		
	児童相互の関係を把握する。	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人の個性や能力が発揮できる場や機会を設定することにより、学級の一員として認められているという安心感をもてるようにする。				1年間の学校生活を振り返らせ、自己の成長を確かめる。		
各教科・読書科	国語：「パネルディスカッション」テーマについて、立場を決めてディスカッションをする。	社会：「子育て支援の願いを実現する政治」子どもの人権について理解を深める。「子ども」	図工：「人権ポスター」人権に関するテーマをもとに、絵と言葉を考えてポスターに表現する。	理科：「植物の体のつくりとはたらき」生き物の成長と環境を扱う教材を通して、生き物には命があり、大切にしていける態度を身に付けさせる。	社会：「江戸幕府と政治の安定」アイヌの歴史について学び、アイヌの人々が差別を受けた背景を知る。「アイヌの人々」	社会：「町人の文化と新しい学問」差別されていた人々の優れた技術や仕事が、江戸時代の文化の発展を支えたことを理解する。「同和問題」	社会：「明治の国づくりを進めた人々」憲法の基本的人権の尊重について理解を深める。「女性」		社会：「世界の未来と日本の役割」世界における日本の立場を理解し、世界平和にかかわる態度を育てる。また日本に住む外国人が受けた差別について考える。（外国人）		
		体育：「リレー」ルールを守り、協力しながら運動する経験を通して、公平・協力の態度を身に付ける。			国語：「ぼくの世界、君の世界」発表し合うことを通して表現する力を伝え合う力を身に付けさせる。		体育(保健)：「病気の予防」HIVやコロナ等の病気について理解する。「HIV感染者等」				
特別の教科 道徳	「特別の教科 道徳」を通して、自由・責任、親切・思いやり、友情・信頼、感謝、生命の尊さ、公正・公平、社会正義、家族愛、勤労、国際理解などを身に付けさせる。										
						「六千人の命のビザ―杉原千蔵―」杉原千蔵がユダヤ人たちにビザを出す決断をした時の思いについて話し合うことをとおして、外国人にも差別しない心情を育てる。「外国人」			「北條道の名づか親―松浦武四郎」松浦武四郎が「北條道」の名前にこめた思いについて話し合うことをとおして、郷土の文化を尊重することの大切さに気づくとともに、アイヌの人々への差別について理解する。「アイヌの人々」		
総合的な学習の時間	児童が発言や体験できる場、交流する活動をたくさんつくり、個性の伸長やたくさんの人と親しむ時間をつくる。										
	世界平和と私たちの役割：人が平和に生きるには、人権が満たされていなければならないこと。互いの人権を尊重しながら共に生きていこうという態度を養う。（外国人）										
特別活動	学活：楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任などについて考え、信頼し支え合って実践させる。				学活：話し合い活動を通して、一人一人の意見や考えを尊重し合う態度を身に付けさせる。		移動教室				卒業式
	「なかよし班」異学年交流を深め、相手の立場に立って思いやる態度を身に付ける。○なかよし班遊び ○えどスポ（運動会） ○CBC（キャッチボールクラシック） ○お別れ給食										
その他	地域訪問：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			個人面談等：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間				
	いじめ防止週間	あいさつ運動(通年)：あいさつを通して、温かい人間関係を養う。					いじめ防止週間				

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔＝関連的な指導 ＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。